



令和8年2月27日

東金市長 鹿間 陸郎 様

東金市下水道事業審議会
会長 森田 弘昭

東金市下水道事業経営戦略の改定について（答申）

令和7年7月1日付け東都下第54号により諮問のありました標記の件について、本委員会において慎重に審議を重ねた結果、令和17年度までの投資・財政計画に基づき事業運営を進めるとした東金市下水道事業経営戦略の改定案は、東金市下水道事業の中長期的な経営指針として妥当なものと判断しましたので答申します。

今後は、市民の理解と協力が得られるよう、積極的な周知と経営状況等の公表を行うとともに、本経営戦略に示された方針に沿った取組み施策の確実な実行により、健全な経営に努められるよう要望します。

なお、本経営戦略に基づく施策の実行にあたっては、別紙のとおり付帯意見を申し添えます。

別紙

付帯意見

1. 本市下水道事業が安定的かつ永続的に運営できるよう、公共下水道・農業集落排水接続率向上に係るPRの工夫や営業活動の充実を図るなど、利用者拡大と有収水量の増加に向けた検討に努められたい。
併せて、農業集落排水の公共下水道への接続等の維持管理費の削減にかかる取り組みにも同様に努められたい。
2. 本経営戦略に掲げられている、下水道事業の各課題及び目標に対し、PDCAサイクルに基づき適切に取り組んでいただきたい。
また事業の実施状況については、毎年度事後検証を行い、その報告及び周知に努められたい。
3. 将来的な、人口減少に伴う下水道使用料収入の減少、物価高騰による維持管理費の増加等により、下水道事業の独立採算制を保つため、使用料改定の検討を要した際は、使用者への周知を適切に実施し、理解を得られるよう努められたい。
4. 使用者の安心・安全を確保するため、下水道施設の適切な管理に努められたい。
また大規模地震等の災害があった際にも、被害が最小限となるよう、施設の耐震化及び計画等の更新等を必要に応じて行うよう努められたい。